

令和3年7月4日執行

(2)

東京都議会議員選挙(世田谷区選挙区)選挙公報

(定数 8 人)

東京都選挙管理委員会

「コロナ禍、広く早く補償に待ったナシ!」 乗り越える力! 勇気と覚悟!

「実は困っています」と声を出していない事業者の救済措置!

- コロナ禍において困窮している事業者に対する必要な支援を提唱します!
- 区議会18年、都議会約10年の実績・経験を活かし、地元世田谷区から東京都へ安全・安心の確保を強く訴えていきます!

子供 安心できる環境で子育てしたい	暮らし 安心して快適な暮らしをしたい	老後 安心して暮らすための準備
<ul style="list-style-type: none"> ●幼児教育ゼロ ●保育料の削減 ●進修教育の推進 ●いじめの撲滅 ●魅力的な公立学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●早期のワックス接種 ●命を守るための防災対策 ●命懸けの送迎・送迎者の負担軽減 ●大田区と連携したEV充電設備 ●エッセンシャルワークに力を入れて 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育人材・介護人材の育成 ●高齢者に対する見守りサービスの実現 ●介護施設の充実 ●高齢者の生きがい支援事業の推進

政治の主体として声をあげてきた3つの安心宣言 引き続き取り組んでまいります!

推薦します 世田谷区 役員 堀内誠一 田中一夫 山崎圭一 萩野慶一 (無所属)

大場やすのぶプロフィール

昭和22年11月6日、世田谷区野沢で生まれる▶世田谷区立地蔵小学校、世田谷区立中・高等学校卒業▶1945年東京大学経済学部経済学系卒業、同年(株)大日本貿易に入社▶世田谷区議会議員5期(18年)自民党世田谷区支部副支部長▶第56代世田谷区議会議員▶第42回・47回東京都議会議員に当選(3期)▶公益企業委員会委員兼副委員長▶2005年12月、新会派「清流会」設立▶東京都議会議員、世田谷区議会議員、世田谷区立小学校校長、世田谷区立小学校校長、世田谷区立小学校校長、世田谷区立小学校校長、世田谷区立小学校校長

<http://www.yasunobu-oba.jp/>



大場やすのぶ

無所属

立憲民主党 現職 3期 48才

あなたを 東京を取り戻す

開病経験を施策に活かす

コロナ禍で苦しむ人が増え続け、政府も遅く、対策が後手後手に回る中、コロナ感染経験者として具体的な対策を提議し、実現してきました。いま政治に必要なのは、すべての命を守り、安心の未来をつくること。未来への一票をぜひ山口拓に託してください。

- ### 経験にもとづく 5つの対策を重点政策
- **コロナ** ▶ くらしと経済を取り戻す
 - **施設** ▶ 施設とサービスの充実
 - **多様性** ▶ ひどが人とで生きる
 - **子育て** ▶ 子どもを最優先
 - **雇用** ▶ 待遇格差をたす
 - **防災** ▶ 複合災害に備える

山口拓が実現してきたこと

- 都議会 東京都議会議員 10年
- 都議会 東京都議会議員 10年
- 都議会 東京都議会議員 10年

推薦します

堀内誠一 田中一夫 山崎圭一 萩野慶一



山口拓

立憲民主党 公認

東京都から日本を変えよう!

日本社会の公益と信義・誠実を求める新しい政党です

「公民」「非公民」とは **公民**: 税を徴収される生活者のこと **非公民**: 徴収した税で生活する者のこと

- ### 公民の知恵と工夫で考える 日本公益党の10提案
1. 個人主義から共同体主義へ
 2. タクボ制度の廃止
 3. 公務員制度改革
 4. 行政の縦割制度から横割制度へ
 5. 情報開示制度の改革と行政監視機能の強化
 6. 行政監視機能の強化
 7. 複式学級と生涯学習型教育の推進
 8. 国債と地方債の削減(借金・借金は減らす)
 9. 単純・公平な一元化の社会保障制度
 10. DX化と地方自治制度(地方分権)

民間と民間企業に訴えます▶一人ひとりの意識改革と行動で日本社会を変えよう▶中学生・高校生でも参加できます▶会費を納めると、会費を納めた助成金、10〜18歳未満の青少年/非公民である若者や公務員は、現行社会制度のまま日本を託してよいのか? 議論を分かち合おう▶公民にしか改革できない? 三権分立は憲法に規定、変更できない



森里香

日本公益党 公認

いまこそ東京を生活のまに

必要なのは住まいと職、医療・介護・教育の充実です。

- ### 関江利子の提案
- **新型コロナウイルス** ▶ PCR検査体制・感染症対策・保健所機能を強化
 - **「省エネ」「再エネ」** ▶ による脱炭素で原発ゼロ、温暖化をストップ
 - **東京都子ども基本条例** ▶ を生かす、子ども参加を広げる
 - **高齢者も障がい者もその人らしく生きられる地域づくり** ▶ 介護する人をかかるといえないケアマネの支援
 - **ジェンダー平等と多様性を社会を強くする** ▶ セクハラ・DV・性暴力をなくす
 - **食の安全が第一! 都市農業を守り育てる** ▶



関江利子

立憲民主党 公認

多様な人が輝ける東京へ

多様な人が輝ける東京へ

福島の力を輝かせる東京へ

- **女性の力** ▶ 女性の力を輝かせる環境を整備
- **世代間** ▶ 世代間の力を輝かせる環境を整備
- **安心で暮らせる** ▶ 安心で暮らせる環境を整備



福島りえこ

都民ファーストの会 公認

新しい時代の東京へ

Reborn!

「積み重ねた経験と目線」を活かし、今と未来の東京の暮らしを守ります。

民間企業での営業、区議会議員、都議会議員、落選、仕事探し、国会議員秘書、中小企業経営、子育て…。

これまでも様々な経験を積んできたからこそ見えるものがあります。今、コロナ禍により日々の生活や雇用に不安を抱える方が増えています。私の持つ経験と目線を駆使し、社会の現場に横たわる不安や不条理と真正面から向き合い、迅速に現場と政治をつなげて課題解決に導けるよう尽力します。

「困難からの再起(=Reborn)」が可能な社会を実現するべく再び、都政に挑みます。

お力添えを下さいますようお願い申し上げます

関口太一



関口太一

国民民主党 公認 45歳

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

(3) 令和3年7月4日執行

東京都議会議員選挙(世田谷区選挙区)選挙公報

(定数8人)

東京都選挙管理委員会

都民の「いのち」と「暮らし」を守り抜く!

たかく則男が実現しました!

- ❖ 新型コロナ対策の最前線に立ち、**ワクチン接種とPCR検査体制**を拡充
- ❖ 区の施設での自販機設置使用料を入札制度に切り替えるなど、この**10年間で約5億円**の新たな財源を確保
- ❖ **胃がんリスク(ABC)検査(800円)**や、**胃がん内視鏡検査(1,500円)**を区の検診に導入
- ❖ 災害時に避難所となる区内の全小中学校体育館に**エアコン**を設置

たかく則男の政策目標	チャレンジ8
1 子育て支援 第2子の出生での保育料全額償還をめざします	2 子どもの健康 高校3年生までの医療費無料化をめざします
3 高齢者福祉 高齢者の健康増進と認知症予防の推進をめざします	4 がん対策 がん予防の新たな重点診療を都立病院に導入します
5 防災 高規格の防災用機材の定期的な更新と防災訓練の充実を推進します	6 高齢・高齢 高齢者に適した多機能の福祉施設などを導入します
7 環境 環境から健康を守る。環境改善センターを推進します	8 防災・防災 防災と連携した多機能の福祉施設などを導入します

プロフィール ■昭和37年、栃木県那須郡生まれ ■早稲田大学卒、58歳 ■大手銀行に20年間勤務 ■平成19年、区議会議員初当選(4期) ■令和3年5月までの福祉保健常任委員としてコロナ対策に全力 ■公明党東京都本部政策局長、党本部多摩川流域治水対策プロジェクトチーム事務局長代理 ■妻と2人の4人家族



たかく則男
公明党公認
高久のりお

れいわ 山本太郎 全力応援

新選組代表

看護師 30年 ふうさわ純子に一票を!

プロフィール ■千葉県柏市出身、麻生 応義塾看護短期大学現在、同大学看護医療学部卒業後、大学病院に勤務。2019年参院選に立候補。2020年参院選に立候補。それ以降ボランティア活動として30年間活動。2020年参院選に立候補。それ以降ボランティア活動として30年間活動。2020年参院選に立候補。それ以降ボランティア活動として30年間活動。

都議会にれいわを!
東京五輪中止は当たり前、コロナを「災害指定」に
「災害指定」されると行政はコロナ収束まで収入や家賃などに責任が生じます。五輪に注力していたリソース(予算・人員・施設など)をコロナ対策へ。
あなたに10万円給付、事業者にも損失補償
緊急事態ごとに、最低限の補償を、都として都民一人ひとりに10万円、コロナ前の事業収入と今年度の事業収入との差額を補償。
徹底! 下水PCRなどのコロナ対策
下水PCR検査で感染者を早期に検出、保潔(保潔)と一体的な体制の大幅拡大
五輪選手村などの既存施設を、無症状・軽症者に特化した療養施設に。
「滞在者専用」の検出記録を徹底。現場検出トレーニング・給付面での厚い処遇支援。
「住まいは権利!」安価な家賃で利用できる住宅を。
都営住宅の新築、都内の空き家・空き部屋を都が借り上げ、必要に提供。



れいわ新選組公認
ふうさわ純子

小松ダイスケ

小池知事へ 60回 緊急提言

PCR検査数の拡大 120倍↑ 90,000件に拡大(白)

受け入れ病床数大幅拡大 118倍↑ 5,600床に増床

ワクチン接種の加速化 8月来↑ 1ヶ月に完了予定(東京都)

東京都と世田谷区、地域の架け橋として

4年で 1040問以上

私たちが応援しています / 佐藤 優 駒崎 弘樹 村中 志朗 田嶋 毅男 水谷 修 橋 淳 宮崎 文雄 島田 歌穂

ともに、その先へ

自民党の新しい力

新型コロナウイルスに打ち克つ〜ワクチン接種の加速〜

一刻も早く日常を取り戻すために、ワクチン接種を加速させます。区や国と連携して、医療体制を充実させ、変異株への対応や水際対策といった感染症対策を強化します。さらには中小企業を中心とした支援により都民の雇用と暮らしを守ります。

もっと都政を身近に 世田谷魅力度ナンバーワン

- 1人づくり
 - 基礎学力の向上や教育格差の是正
 - ICT環境の充実によるオンライン授業の普及
 - グローバル人材の育成のための理数系教育の充実
- 充実した子育て支援
 - 妊娠前から子育て家庭に寄り添う支援
 - 多様なニーズに合わせたきめ細やかな保育サービス
 - 子どもの貧困対策、児童虐待防止
- 安心の医療・福祉
 - 高齢者の孤立を防ぐ見守り、8050問題の解決
 - 介護・生活支援などを一体的に提供する取組の充実
 - 公共施設のパブリック化と若者がいる教育環境の整備
- 環境社会
 - 再生可能エネルギーの利便促進
 - ゴミ出しが困難な高齢者等への支援拡充
 - フードバンク(未使用食品回収)の強化による食品ロス削減
- 強い地域経済
 - 中小企業の海外展開や事業継承・事業再生支援
 - 幅広い年代の起業・創業の支援
 - 産産品、伝統食品などの「世田谷ブランド」の開発
- 安心・安全の街づくり
 - 洪水、内水、ハザードマップの周知、ライフラインの強化
 - 開かずの踏切、公共交通不便地域の解消
 - 環状7-8号線の抜け道安全対策、自転車安全対策

私どもも応援しています / 菅 義偉 若宮 健嗣 越智 隆雄



つちや
土屋みわ
自民党公認

日本維新の会

8つの政策

財源創出と大行政改革の断行

28兆円の公有財産を活かし 大型経済対策

財源を直ちに用意

1 東京大復活レスキュープラン

2兆円規模のかつてない大型経済対策

- 【東京版】持続化給付金・家賃支援給付金 約1.2兆円
昨年度の残額を東京都が独自に実施 (例)持続化給付金2000万円、家賃支援給付金46万円を試算(1株あたり)
- 臨時児童手当と授業料補助 2,800億円
15歳以下一律10万円給付、高校生・大学生に同額の授業料支援
- キャッシュレスポイント還元 3,000億円
家計を進める買い物ポイント大幅還元
- 区市町村サポート交付金 3,000億円
身近な区市町村がニーズを把握し、高齢者の生活サポート

2 議員報酬・定数の3割をカット

3 議会改革と情報公開を徹底

4 コロナ禍の十分な休業補償、ワクチン接種加速

5 権限・財源を固く都へ区市へ戻し、行政のスリム化

6 教育無償化、セーフティネットを構築

7 フォア・サテライトの活用、女性の活躍社会

8 LGTQ、表現の自由など多様性を尊重

9 東京五輪は客観的指標で判断

全力で応援しています / 吉村 洋文

子ども最優先」を貫く

まずは、子どもたちのことがいちばん大切にされる社会をあなたと一緒につくります。

風間 裕一

1973年2月生まれ、48歳
早大庄高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
ヘッセ、ウィル・シード取締役
早大大学院非常勤講師などを経て
世田谷区議会議員4期
高校は野球部(4番キャッチャー主将)
大学はラグビーサークル(ロック)
趣味はキャンプと料理。A型 5年生
妻と子ども3人、5人家族

風間ゆたかのめざす東京

- 選択的夫婦別姓を支持
- 同性パートナーシップ制度の導入
- 学校教育予算と教職員を増やす
- 学校給食費の無償化
- SDGsに応じた経済・環境政策
- 保育士の待遇強化へ
- コロナ対策と災害対策に全力を

保坂展人(世田谷区長)

「子どもファースト」で区政改革の先頭に立てた風間さんは、東京都の教育・子ども政策に「風穴」を開けられる人です。

立憲民主党代表 枝野幸男

立憲民主党の都議選勝利こそが、緊張感のある都政運営につながります。風間ゆたかさんへの投票をお願いします。



立憲民主党
風間ゆたか

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 7月4日(日) 午前7時から午後8時まで

期日前投票期間 6月26日(土)～7月3日(土) 午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします

選挙管理委員会が実施する新型コロナウイルス感染症対策

- 投票所・期日前投票所にはアルコール消毒液を配置
- 投票管理者、投票立会人、投票所スタッフはマスクを着用
- 投票所内は扉や窓の常時開放、または定期的な換気
- 記載台、鉛筆等不特定多数の方が触れる箇所は定期的に消毒

有権者の皆様へのお願い

- マスク着用や咳エチケット、来場前・帰宅後の手洗い等
- 周囲の方との距離の確保

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特例郵便等投票が利用できません

投票用紙の請求期限 6月30日(水) 午後5時まで

投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

特例郵便等投票の対象者

東京都議会議員選挙の有権者で、投票用紙の請求の時点で、以下の外出自粛期間・隔離等措置期間が6月26日(土)から7月4日(日)までの期間にかかる見込まれる方

- 感染症法・検疫法の規定により外出自粛要請を受けた方(但し、濃厚接触者は対象外)
- 検疫法の規定により隔離又は停留の措置を受けて宿泊施設に収容されている方

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページで

ご確認いただくか、お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内：<https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>